

共同研究プロジェクト成果発表会

フードバンクを活用した食品ロス削減推進 共同研究プロジェクト

平成29(2017)年度～令和元(2019)年度

- [研究代表者] 特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン
[共同研究者] 特定非営利活動法人フードバンク福岡
エフコープ生活協同組合
一般社団法人福岡県フードバンク協議会
[アドバイザー] 認定NPO法人アカツキ

フードバンクの社会的役割

フードバンクとは

- ①品質に問題がないにもかかわらず、**市場で流通できなくなった食品**を、企業や個人から**寄贈**してもらい、
- ②施設や団体、**食べ物に困っている人に無償で配る**活動。

環境問題

年間で612万トンもの可食部・未使用の食品が廃棄されている。

フードバンク

貧困問題

相対的貧困（所得中央値の50%未満）により食事に困っている。

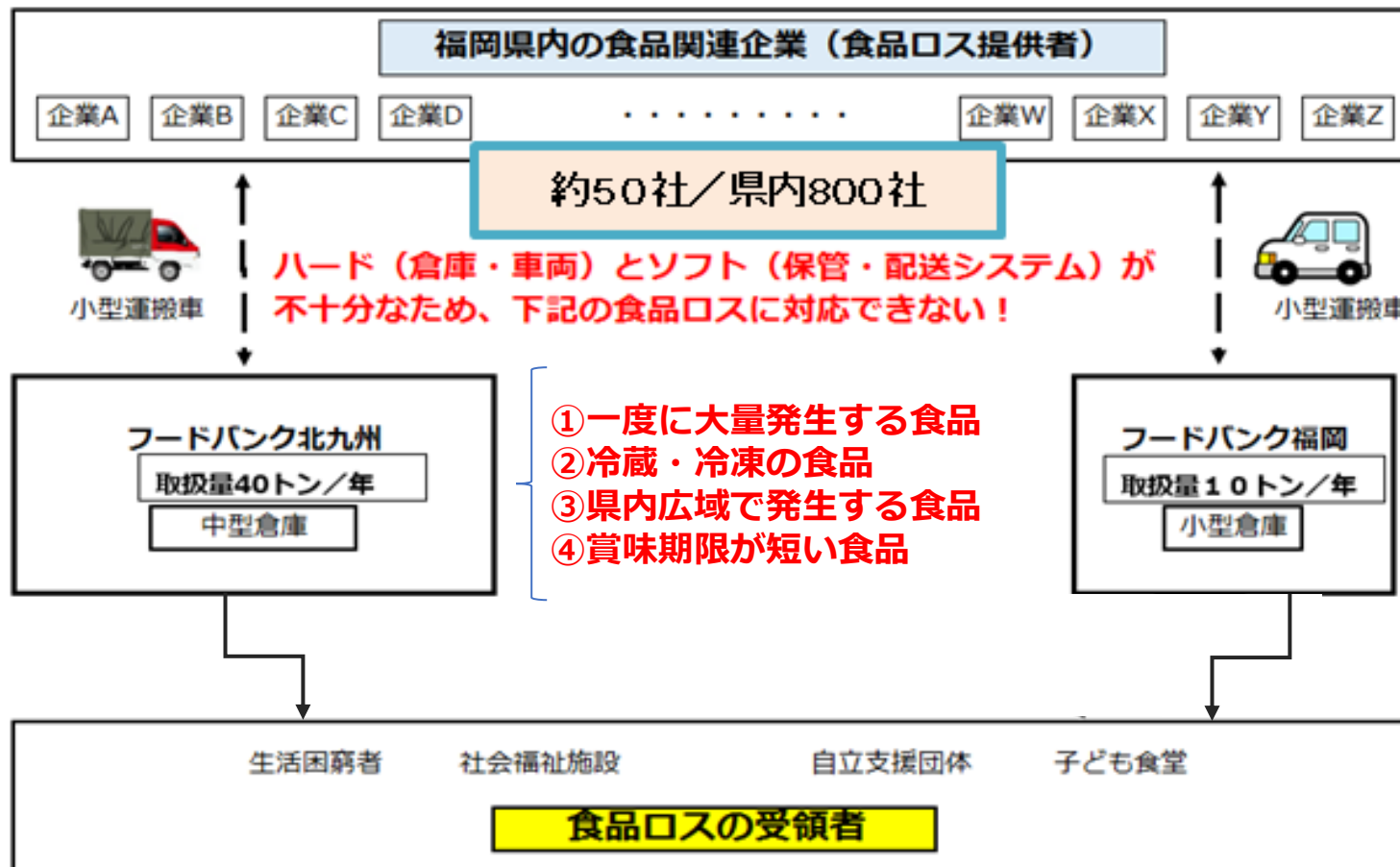
新しい流通の仕組みを作ること、
廃棄される食品に
新たな命を吹き込み
たくさんの人々の命をつなぐ。

フードバンクの現状と課題

組織の基盤が弱い 施設・設備／食品管理・事業インフラ

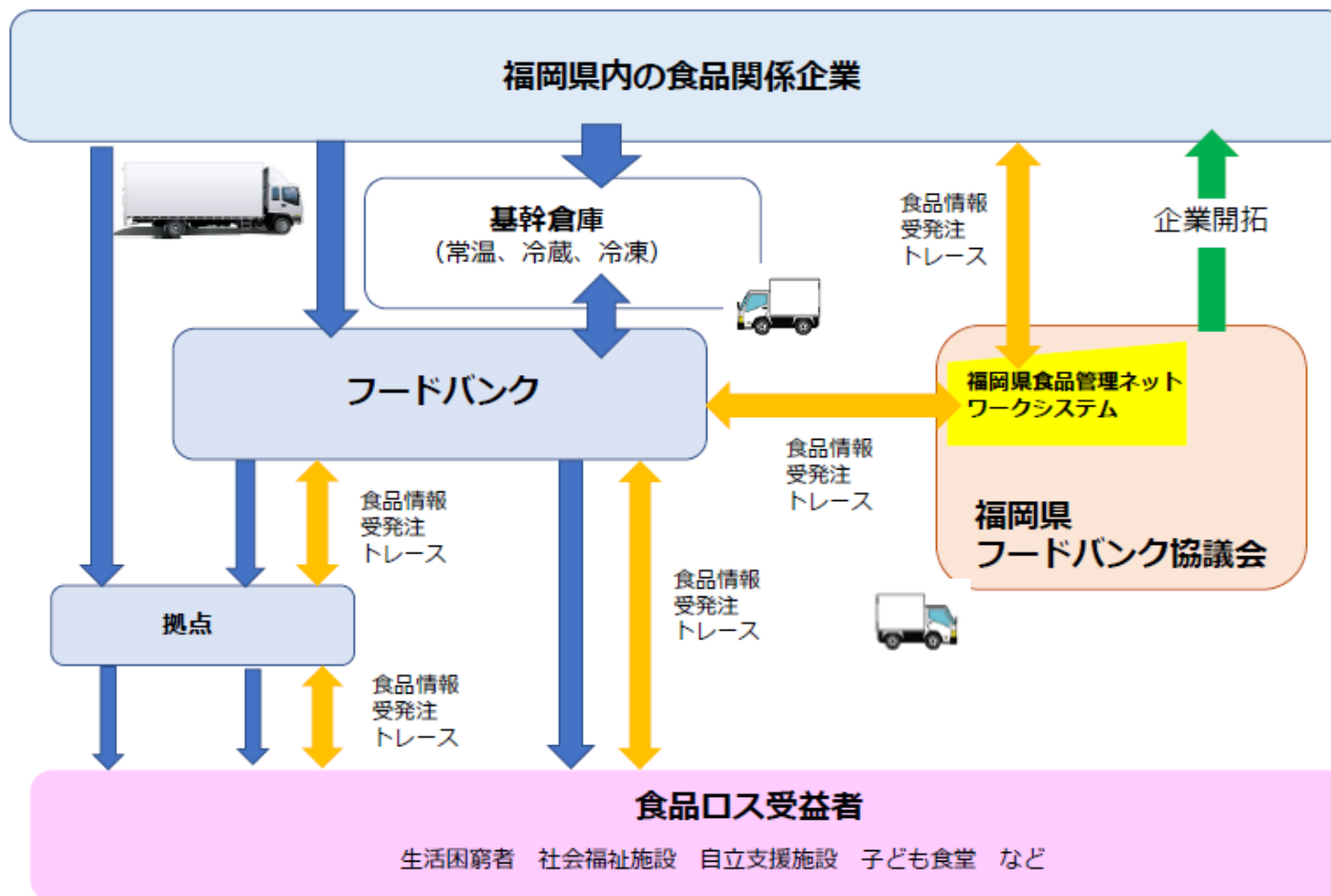


食品ロスに対応できない！



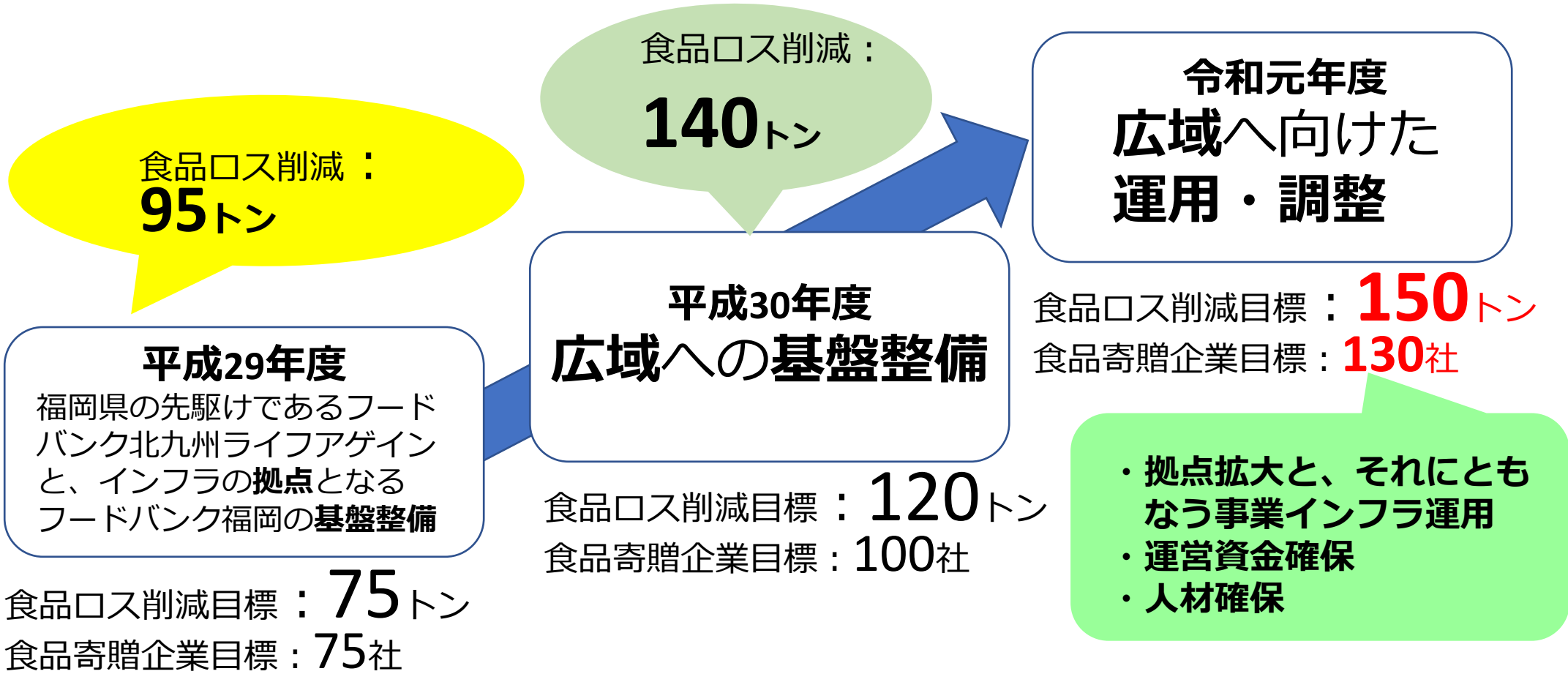
本プロジェクトの目的と目指す姿

福岡県内を網羅する
広域型フードバンクシステムを構築する。



事業計画

3年間で福岡県内を網羅する
フードバンクシステムを構築するには



課題A	フードバンクの基盤整備と機能強化	→
課題B	持続可能なフードバンク運営体制の構築	→
課題C	広域フードバンクシステムの構築	→

令和元年度事業計画イメージ図

機能分担

入口：
食品寄贈企業の開拓

福岡県フードバンク協議会

事業インフラ運用

エフコープ
生活協同組合
基幹倉庫

出口：
配送先の拡大

社会福祉協議会

北九州市

連携強化

フードバンク
北九州
ライフアゲイン

筑豊・京築
地区拠点

福祉施設

フードバンク
福岡

宗像・筑後
地区
拠点

福祉施設

子ども食堂
子どもの居場所
シングルマザー

子ども食堂
子どもの居場所
シングルマザー

行政窓口

社会福祉協議会

筑紫・久留米他
フードバンク

食品管理システム

- ・ 共通合意書
- ・ 食品衛生基準、
事故マニュアル、チェック表
- ・ トレーサビリティシステム

出口：
配送先の拡大

運営資金の確保

事業報告

3年間で福岡県内を網羅する フードバンクシステムを構築するには

食品ロス削減：
142トン

食品ロス削減：
95トン

食品ロス削減：
140トン

令和元年度
広域へ向けた
運用・調整

平成29年度

福岡県の先駆けであるフード
バンク北九州ライフアゲイン
と、インフラの拠点となる
フードバンク福岡の**基盤整備**

平成30年度
広域への**基盤整備**

食品ロス削減目標：**150**トン
食品寄贈企業目標：**130**社

食品ロス削減目標：**120**トン
食品寄贈企業目標：**100**社

食品ロス削減目標：**75**トン
食品寄贈企業目標：**75**社

課題A	フードバンクの基盤整備と機能強化	→
課題B	持続可能なフードバンク運営体制の構築	→
課題C	広域フードバンクシステムの構築	→

令和元年度実施報告

課題A:フードバンクの基盤整備と機能強化

(課題A-1: 食品保管・配送の基盤整備)

(FB北九州)

- ・ 冷凍ストッカー2台、業務用冷蔵庫2台、配送車両寄贈 (H30)
- ・ 運搬効率を図る手動リフトの活用等

(FB福岡)

- ・ 冷凍ストッカー2台、業務用冷蔵庫1台、配送車両寄贈 (H30)
- ・ フードバンク福岡サテライト久留米開所 (県南・災害からの生活支援)
- ・ 福岡市東区「下原ベース」開所 (全国初商業施設内での拠点)

(エフコープ)

- ・ フードバンク団体へ冷凍・冷蔵・常温スペースの常時無償貸与 (宗像・西港倉庫)
- ・ 保冷バッグ、蓄冷材無償貸与

(課題A-2: 食品管理システムの構築)

- ① 共通合意書の見直し
- ② 食品品質衛生基準の運用
- ③ 食品管理業務の標準化

***順調に運用**



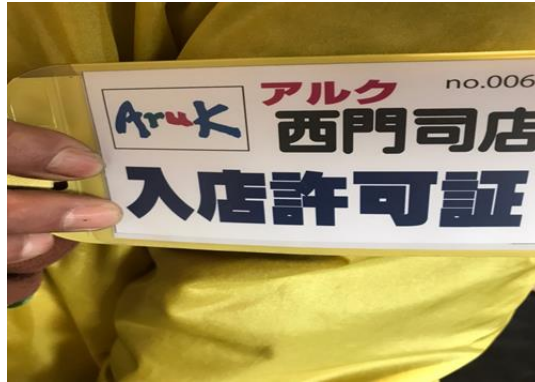
課題A:フードバンクの基盤整備と機能強化

(課題A-3 : 食品寄贈企業の開拓)

- 食品企業数 **123+40=163**社達成
- 食品取扱量 **142**トン達成



豪雨のため配達不能となった
コープさが生協からの提供品（常温品）



市内アルク3店舗で子ども食堂への
青果物直接寄贈が始まった



ローソンからの提供品（常温品）



福岡県フードバンク協議会が合意書を締結した企業

課題A:フードバンクの基盤整備と機能強化

(課題A-4 : 食品支援先の拡大)

- ①自治体や社会福祉協議会等との連携強化
- ②福祉施設や子ども食堂への支援拡大



子ども食堂での様子



久留米での受け渡しの様子



福岡県・北九州市立大学との協働で「ロスロスハロウィン」開催



北九州市社会福祉協議会フードドライブ集荷

子ども食堂
福祉施設など含め

総計

176+60=236団体へ 個人支援319件 (累計)
支援拡大

課題B:持続可能なフードバンク運営体制の構築

(課題B-1 : 運営資金の確保)

目標1800万円に対し → **1,752.8万円**達成

	フードバンク北九州	フードバンク福岡
①企業の寄付金・会員の会費	276.7万円	155.0万円
②支援型自動販売機・寄付付き商品等	24.3万円	2.1万円
③助成金	215.0万円	836.5万円
④ファンドレイジングの活用	190.0万円	53.2万円
合計	706.0万円	1046.8万円



クラウドファンディングであるハッピーバナナプロジェクトホームページ画面



コカ・コーラとの協働事業
『寄付型自販機によるSDGs市内普及事業』におけるフードバンク北九州ライフアゲインの寄付型自販機のラッピングデザイン

課題B:持続可能なフードバンク運営体制の構築

(課題B-2:企業・団体・行政の支援開拓)



フードバンク福岡 サテライト久留米の事務所



(株) サンキュードラッグ店舗にて個人要支援者への食料を受け渡している。
(上) 受渡の際の個人カード



大和リース株式会社との無償賃貸契約



エフコープ生活協同組合
久留米支所

課題B:持続可能なフードバンク運営体制の構築

(課題B-3：広報活動の強化)

ホームページ、フェイスブック等による情報発信	・ ホームページ、フェイスブックによる情報発信。
パンフレット・ニュースレターの作成	(FB北九州) ・ パンフレット、ニュースレターの改訂と発信。 ・ 三つ折りパンフレット (FB福岡) ・ パンフレット、ニュースレターの作成と発信。 ・ 三つ折りパンフレット、ルーペ版作成
シンポジウム・講演会の開催	・ シンポジウム ： ・ 講演会・勉強会・説明会 (FB北九州) 43回 (FB福岡) 34回



ライフアゲインカフェ
【令和2年1月25日開催】



あすみんによるパンフレット



エフコープ西部ブロック学習会

協議会のメンバーである 4つのフードバンクを紹介!

私 たち、エフコープはエフコープがフードバンク協会のメンバーとして、食品ロス削減の取り組みを推進しています。食品ロスは社会全体の課題であり、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

日 本食品ロス削減の取り組みは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。食品ロスは社会全体の課題であり、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

初 次、地域に不足している食品を、エフコープがフードバンク協会のメンバーとして、食品ロス削減の取り組みを推進しています。食品ロスは社会全体の課題であり、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

昨 日、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。食品ロスは社会全体の課題であり、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

フードバンクの仕組み

企業・個人・一般廃棄業者
↓
食品の寄付
↓
フードバンク
↓
食品の提供
↓
子ども食堂・施設・団体

フードバンクの仕組み
企業・個人・一般廃棄業者
↓
食品の寄付
↓
フードバンク
↓
食品の提供
↓
子ども食堂・施設・団体

フードバンクの仕組み
企業・個人・一般廃棄業者
↓
食品の寄付
↓
フードバンク
↓
食品の提供
↓
子ども食堂・施設・団体

フードバンクの仕組み
企業・個人・一般廃棄業者
↓
食品の寄付
↓
フードバンク
↓
食品の提供
↓
子ども食堂・施設・団体

食マ〜ながらフェスタ in 福岡 & 北九州子ども食堂学生サミット

分科会1 会場：本館3階 D302 13:20～14:50

フードバンク活動と子どもの居場所への支援について

今年の5月31日に「食品ロスの削減に関する法律」が成立したことで、食品ロスの削減が「国民運動」と位置付けられ、フードバンク活動への取り組みが注目される中、取組でどのような変化があったのか。

コーディネーター
NPO法人フードバンク北九州ライフデザイン 理事長 藤田 昌樹さん

パネリスト
NPO法人チャイルドケアセンター 相談役 松川 政満さん
NPO法人フードバンク福岡 理事長 豊田 千香さん
福岡県リサイクル総合研究事業化センター 班長 前田 和紀さん
エフコープ生活協同組合 組合活動部 部長 安元 正和さん



エフコープ店頭での
フードバンク福岡によるフードドライブ

食でつながるフェスタ in 福岡
フードバンクと子どもの居場所への支援



宗像市役所市民協働環境部環境課



福岡市環境フェスタの様子

エフコープ機関誌2020年1月号特集記事紙面

フードバンクのとりくみに協力しています

エフコープは、推進員の中でフードバンクの活動を行っている団体へ協力しています。2018年には、大きくおかげでフードバンク協会のメンバーとして、食品ロス削減の取り組みを推進しています。食品ロスは社会全体の課題であり、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

フードバンクの仕組み

企業・個人
↓
エフコープ
↓
フードバンク
↓
食品の提供
↓
子ども食堂・施設・団体

エフコープが協力していること

フードドライブの開催
フードバンクの活動を推進する中で、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

食品保管の協力
食品ロスの削減を推進する中で、エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

寄付型自動販売機の設置
エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

広報活動への協力
エフコープは、食の安全や食生活の向上を推進する中で、食品ロス削減の取り組みを推進しています。

エフコープ組織パンフレット掲載紙面



フーズスタイルでの展示の様子



エフコープ広報資材に載ったフードドライブ (店頭にて)

課題B:持続可能なフードバンク運営体制の構築 (課題B-4 : 人材の確保)

① 支援者の確保の実施

- ・ 作業内容の分類・整理
- ・ 固定スタッフやボランティアの確保

② 人材活用の条件整備

労務管理、教育制度の実施



課題C:福岡県広域フードバンクシステムの構築

(課題C-1: 広域物流システムの基盤整備)

- ① 拠点倉庫と物流システムの基盤整備
- ② 県内フードバンクや自治体等との連携



下原ベース
受け渡し拠点・倉庫



エコショップ生活協同組合宗像支所

鶴田本部 事務所兼倉庫



福岡市南区鶴田4丁目48番地4



サテライト久留米
事務所兼倉庫

エコショップ生活協同組合久留米支所



久留米



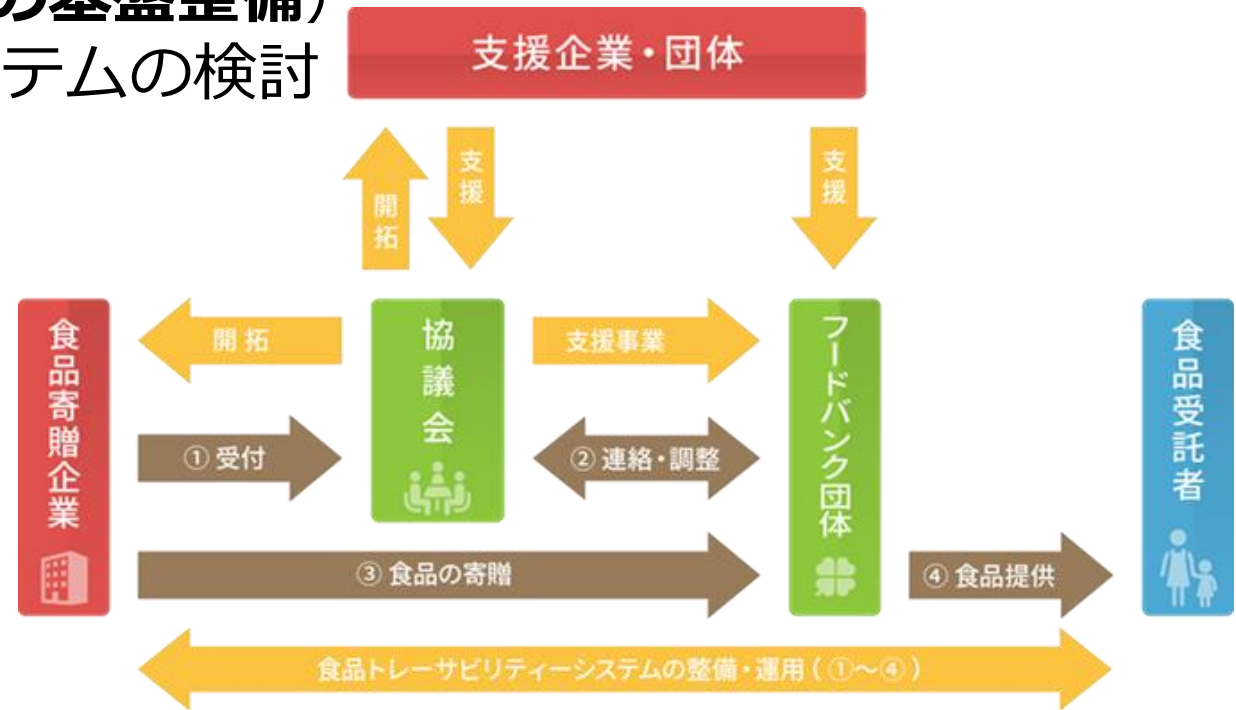
誠心物流検討開始



課題C:福岡県広域フードバンクシステムの構築

(課題C-1: 広域物流システムの基盤整備)

③ フードバンク活動支援システムの検討



課題C-2: 福岡県フードバンク協議会の運用

- ① 食品寄贈・支援企業の開拓
- ② 寄贈食品の受付と管理
- ③ 寄贈食品の受付と管理

課題C-3: 運営基盤の構築

- ① 社員の募集・協賛会員への案内を行う



西日本シティ銀行の私募債にご参加くださった、株式会社オオサカネーム様

『誰ひとり置き去りにしない』 社会の実現に向けて



一般社団法人
福岡県フードバンク協議会

